



平成 22 年 12 月 6 日

報道資料

社団法人 日本オーディオ協会

平成 22 年度 第 15 回「音の匠」の顕彰

社団法人日本オーディオ協会（会長 校條 亮治）は、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識していただき、また音楽とオーディオ産業発展のために、（社）日本レコード協会、（社）日本音楽スタジオ協会などと協調して、1994 年に 12 月 6 日を「音の日」と決めました。

この 12 月 6 日は発明王トーマス・エジソンが 1877 年、世界で初めて蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音を記録し再生するオーディオの誕生日ということになります。

「音の日」の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会は 1996 年より音を通じて文化や生活に貢献した方々を「音の匠」として顕彰し、広く一般の方々に素晴らしい音の世界を認識していただく活動をつづけております。

第 15 回目にあたる本年度は、伝統ある無声映画の世界で永年にわたり伝統話芸・活動弁士の継承者として、音の原点である肉声による声色を多彩な語り口で、人々に感動を与える活動を続けて来られた活動弁士の澤登翠（さわとみどり）氏を顕彰します。

平成 22 年度「音の匠」

澤登 翠（さわと みどり）氏 （活動弁士）

以上

（添付資料）

1. 顕彰者のプロフィール
2. 過去の「音の匠」受賞者一覧

データ資料は報道関係者様専用ダウンロードサイトよりご利用いただけます。

アドレス <http://www.jas-audio.or.jp/press/>